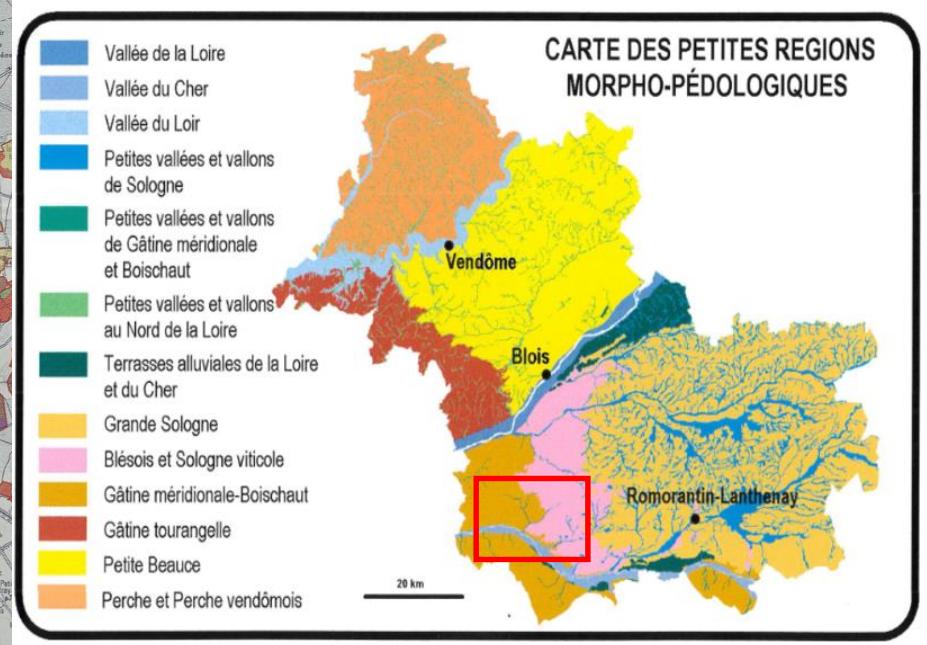
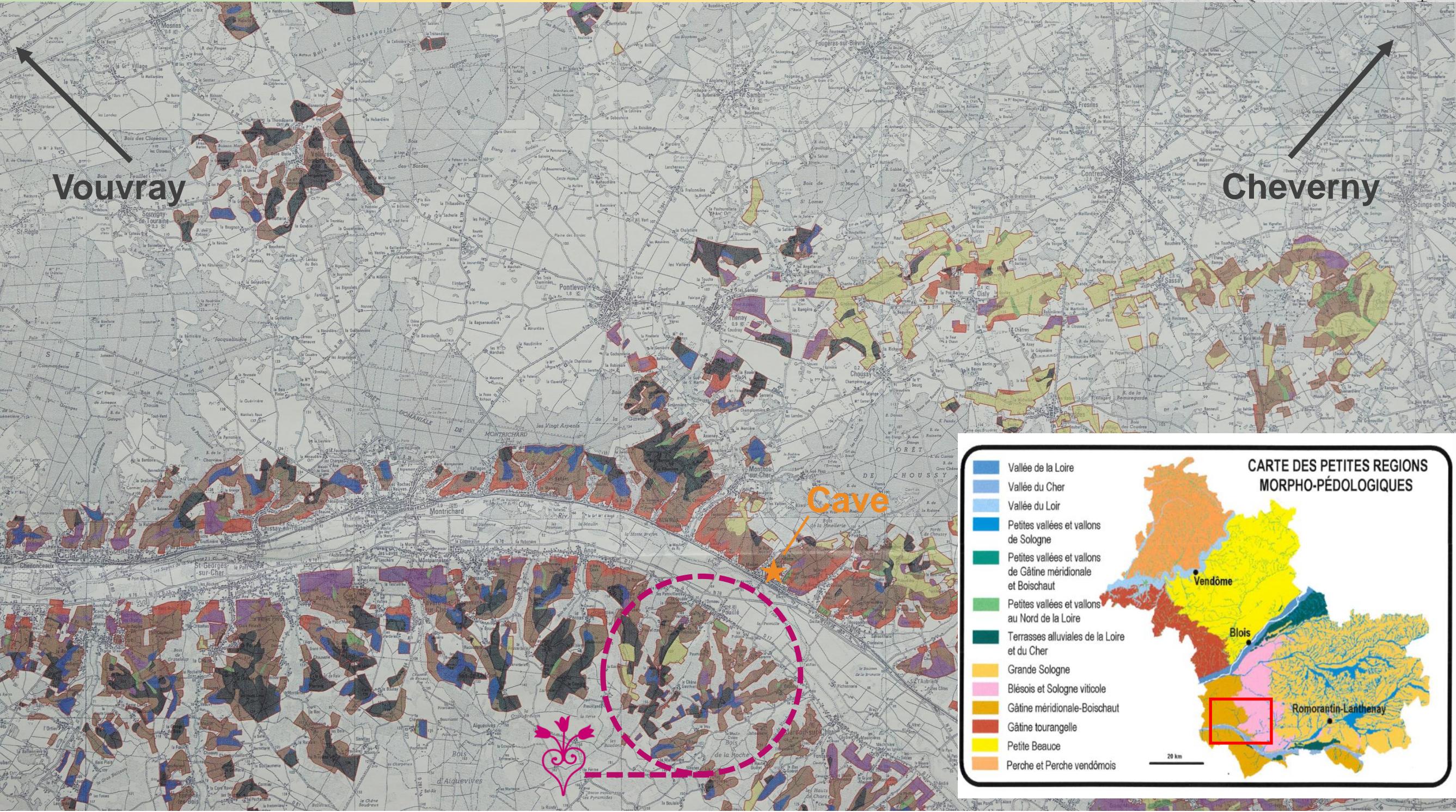
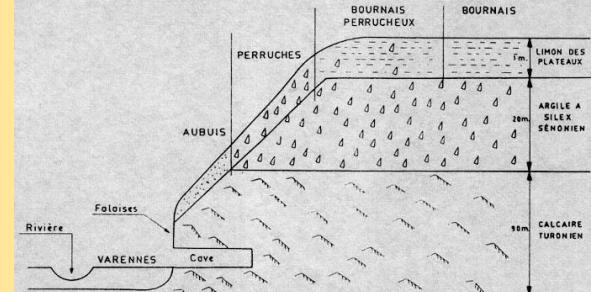


テロワールの構成要素

- 物質的な要因（土壌、母岩）
- 気候的要因（マクロ、ミクロ気候）
- 地理的要因（地形、方角）
- 農学的要因（耕作）

<シェール川流域のテロワールについて>

ロワール・エ・シェール県内でもっともブドウ畑が集中している地域で、ソーヴィニヨンブランの大国。もっともよい畑は、川に近い丘の高い傾斜の部分にある。地中の土壌は、ロワール中央全体に広がるテュフォと呼ばれる石灰質土壌で、パリ盆地に属する。テュフォの上の表土は、粘土・石灰、粘土・シレックス、小石混じり、砂地等様々。石灰の断崖を直接掘った岩窟カーブが有名。



シェール川流域のテロワール

0 3 km

Sources : cartographies des études terroir de vignobles de l'AOC Touraine de 1997 à 2004, & Scan50, IGN, Paris,

- 石灰土壌, 肥沃, 水はけが良い, 温まりやすい <<オービュイ>>
- 斜面のある土壌, 粘土・シレックス, 水はけがよい, 温まりやすい <<ペルツシュ>>
- 台地または傾斜が緩やかな斜面にある土壌, 沖積土（河川に運ばれた泥土）, 温まりづらい, 小石なし <<ブルネ>>
- 台地または傾斜が緩やかな斜面にある土壌, 小石混じりの沖積土 <<ブルネ ペルツシュ>>
- 砂地土壌, 温まりやすい, 水はけが良い, 表土が深い <<サーブル メゾトロフ>>
- ソーロニユ台地とその周辺の砂地土壌, 酸性, 砂の目が細かく水はけ悪い, 保湿性高い <<ソーロニユの砂>>
- 小さい谷の深い土壌, 耕作地, 肥沃で複雑 <<コルヴィオン>>